

2017年12月29日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社東忠ソフトの「SMB C働き方改革私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は株式会社東忠ソフト（代表取締役 丁 偉儒）の発行する「SMB C働き方改革私募債」を買受け致しました。

「SMB C働き方改革私募債」は、私募債買受け時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う商品です。

今回対象となった、株式会社東忠ソフトに対する診断結果は、今後、働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、株式会社東忠ソフトでは、以下のような取組と実績を有しておられます。  
時短勤務や勤務時間シフトが可能なプロジェクトを積極的に受注することで、従業員のワークライフバランスの実現を支援。  
育児・介護休業及び、創立記念日休暇や研修費補助等の福利厚生制度を正規、非正規の別なく適用。  
全社員が一堂に会する機会を定期的に設け、顧客先で勤務している社員や時間外労働が多い社員に積極的な声掛けを行うことで、社内のコミュニケーションの円滑化を推進。

さらに同社では、今後のさらなる働き方改革に向け、経営トップが、「開発現場に標準化ツールを導入し、労働生産性の向上を実現する」と宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、以下2点をコミットしておられます。

- ・2020年までに時間外労働を2016年から20%削減する
- ・非正規雇用から正規雇用への切替を進める

三井住友銀行では、「SMB C働き方改革私募債」により、お客さまの働き方改革に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。

（ ）“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長： 淵崎 正弘）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。